



国内バイオバンクの最新状況や制度を共有し、利活用の促進をめざすセミナーです。産業界がリードし、バイオバンクと連携して企画しました。

当日は14のバイオバンク実務担当者が集結し、利用希望者の対話を待っています。研究を新たに始めたい方、より円滑に進めたい研究者の皆様のご参加をお待ちしております。

バイオバンク利活用セミナー

参加費無料

合同
開催

AMEDゲノム研究プラットフォーム利活用システム

第3回 バイオバンク・ネットワーク イノベーションディスカバリー フォーラム

2026

3/23 月 15:00-18:15

会場

御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター
sola city Hall WEST JR御茶ノ水駅 聖橋口 徒歩1分

国内バイオバンクの利活用が広がる中、個性的な各バイオバンクの特長を把握し最適な利用をすることは、研究の差別化と成功への近道です。本セミナーは、利用者である産業界と提供者のバイオバンク、双方の様々な視点からの利活用例を含む講演と、実務担当者と直接対話できる場から、利用者と提供者の相互理解を深め、産業界からの利活用を最大限に引き出すことを目的としています。

第1部

15:00 ~ 17:00

実例に学ぶバイオバンク利活用最前線

オンライン
定員500名

オンサイト
定員200名

15:00 ~ 15:05

開会挨拶

■ 荻島 創一（東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 教授）

15:05 ~ 15:20

ゲノム研究プラットフォーム利活用システムの取り組み

バイオバンク・ネットワーク ジャパンが目指す創薬・医療研究開発の推進

■ 荻島 創一（東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 教授）

15:20 ~ 15:35

バイオバンク利活用ハンドブックの使い方

■ 甲畠 宏子（東京科学大学大学院 先進倫理医科学分野 講師）

15:35 ~ 16:05

各バイオバンクの自己紹介

バイオバンク・ネットワーク ジャパン参加の 14 バイオバンクの自己紹介ビデオと担当者からの一言

16:05 ~ 16:25

（座談会）製薬企業でのバイオバンク利活用について

■ 司会：長神 風二（東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 教授）、登壇者：製薬企業関係者

16:25 ~ 16:45

ベンチャー企業でのバイオバンク活用事例

■ バイオバンク検体を用いた自己抗体データ取得と事業応用 五島 直樹（プロテオブリッジ株式会社 取締役副社長 CSO）

■ 先天性希少疾患の病因解析と創薬におけるバイオバンクの活用 時田 義人（トレジェムバイオファーマ株式会社 科学技術顧問）

16:45 ~ 16:55

臨床検査薬業界からのバイオバンクへの期待

■ 繁田 勝美（日本臨床検査薬協会 常務理事）

16:55 ~ 17:00

第1部終了挨拶

■ 小野 徳哉（日本臨床検査薬協会 会長、島津ダイアグノスティクス株式会社代表取締役社長執行役員）

第2部

17:05 ~ 18:15

ネットワーキングとポスター展示～個別相談・交流の時間～

オンサイト

14 バイオバンクの紹介ポスターの前で参加者とバイオバンク担当者がフリーディスカッション

申込方法

右記よりお申込みください
※定員になり次第締め切ります

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_hDSmy8TjRsG9zLOEUQIBXA



共 催
・日本製薬工業協会(製薬協)
・一般社団法人 日本臨床検査薬協会(臨薬協)
・AMED ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム ゲノム研究プラットフォーム利活用システム
(代表機関 東北大学東北メディカル・メガバンク機構)

お問合せ先
バイオバンク・ネットワーク イノベーションディスカバリー
フォーラム事務局(東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
バイオバンク利活用・産学連携推進センター内)
discoveryforum@biobank-network.jp



協 力 機 関
バイオバンク・ネットワーク ジャパン